



シャローム shalom

No.134
2016.3

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



より安全で信頼される産婦人科医療を目指して

ふじた こうへい
産婦人科 部長 藤田 浩平

みなさん、こんにちは！いつも日本バプテスト病院産婦人科へのご支援をありがとうございます。当院は地域周産期母子医療センターとして施設認定され、左京区のみならず京都府全域の周産期医療を支えています。産婦人科は現在常勤5名で小児科や関係部署とともに重症の妊婦様や胎児・新生児の治療ため日々奮闘を続けております。産婦人科医療の危機が叫ばれる中、ここ数年で当院周辺でも分娩の取り扱いを停止した産院もあり、当院の地域の妊婦様への責任は増えていると感じています。

また婦人科診療では、ニーズに応じて腹腔鏡手術や子宮鏡下手術など手術の低侵襲化の拡大を図り好評を得ています。月経不順や更年期症状などの女性

のヘルスケア部門や拳児希望の患者様への対応も行っています。当院には向上心を持った産婦人科医師が集まっており、連日のように各症例に対してディスカッションを行い、より適切な診療方針をチームで決定、実行していくことが日常となっています。診療内容の向上には最新知識の習得も重要であり、学術集会での発表、参加や論文作成を通じてチームのレベルアップに繋げております。

今後も地域の妊婦様と、そのお腹の小さな命、婦人科疾患で悩む方々のために一層の研鑽を積んで、より安全で信頼される産婦人科医療を目指して参りますので何卒よろしくお願いたします。

2015年度医療団標語聖句（ローマの信徒への手紙15章2節より）

おのおの善を行って隣人を喜ばせ、互いの向上に努めるべきです。

News

このたび、当医療団「バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック」および「バプテスト緩和ケア訪問看護ステーション」をそれぞれ3月末、2月末にて廃止し、4月より事業を渡辺緩和ケア・在宅クリニック（仮称）に継承させていただくこととなりました。

同クリニックは今後も引き続き日本バプテスト病院との病診連携を継続し地域の在宅医療に貢献できるクリニックを目指してまいります。引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Relay Column

バプテストリレーコラム

vol.30 広報委員会より報告

2015年12月中には多くのイベントを開催することが出来ました。2016年にもたくさんのイベントが開催できるように取り組みたいと考えています。

参加者の皆さま、ありがとうございました。



薬でつなぐ ちよつといい話



vol.8 栄養サポートチームの中の薬剤師

しもだ ひさこ

薬剤師 下田 寿子

NST という言葉をご存じでしょうか。Nutrition（栄養）、Support（サポート）、Team（チーム）の頭文字をとったもので、栄養サポートチームのことです。栄養状態が良くないと傷の治りが遅くなったり、感染症にかかりやすくなることもあります。

NSTでは、医師・栄養士・看護師・言語聴覚士・薬剤師などが協力しあって患者さんの栄養状態の改善を目指しています。NSTは週に1回集まりカンファレンスをひらいて患者さんの栄養状態を確認し、低栄養状態にならないように話し合っています。また、院内で勉強会を開催し栄養についての知識を広めています。

NSTの中での薬剤師の役割について紹介します。主に使用薬剤の配合変化・相互作用の確認、高カロリー輸液の無菌調製などです。高カロリー輸液は、アミノ酸・糖質・脂肪・ビタミン・ミネラルを含み、カロリーも1000～2500kcalと1日に必要な栄養を点滴から補給することができます。高カロリー輸液は栄養が豊富なので細菌感染を起こさないように無菌的に調製をしています。



左の写真は高カロリー輸液を無菌調製しているときの写真です。

このように、薬剤師は治療の効果を高め、病気の治りが早まるように栄養状態の改善に努めています。

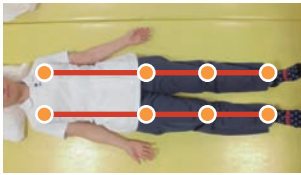


健康・栄養

第18回 身体のゆがみを修正する練習方法

理学療法士

せと たけみ
瀬戸 雄海



自分が感じている身体の動きと実際の身体の動きを比べて、身体のゆがみを自分で修正していきましょう。まず、目を閉じた状態で床に寝て、肩やおしりが左右対称になっているかどうかを比べてみましょう。「肩-つけ根-膝-踵」が一直線になるように目で見ながら修正して身体で覚えていきましょう。

○ステップⅠ



膝を曲げて、つけ根から脚を真っ直ぐに持ち上げます。手で押さえている下腹部あたりに力を入れて下さい。



○ステップⅡ



姿勢を正して座り、身体が後ろへのけぞらないようにして、足を真上に持ち上げます。その時、足と足の間に床面から垂直な棒などを入れて目印にすると、修正しやすいです。

※左右で比べて違う時は、足を上げる方向や力が入っているところをもう一度思いかえしてみてください。わずかに違うだけでも慢性的な痛みにつながる可能性がありますので、下腹部や太ももに注意して左右を比べて同じ感触になるように修正していきましょう。

聖書の小道

第24回

「イエスの心」

人々はイエスを訴えようと思って、

安息日にこの人の病気を

いやされるかどうか、注目していた。

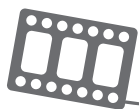
マルコによる福音書
3章2節

みやがわ ゆみこ

牧師・チャプレン 宮川 裕美子



イエスが会堂で出会った人は大勢の人に注目されていました。しかし人々が見ていたことは治療が禁じられている日にイエスがこの人をどうするかということであり、その人自身やその人が抱えている痛みではありませんでした。そのような中で、イエスは人々の真ん中にこの人を立たせてからその手を癒されます。(3、5節) イエスは人々に、見つめるべきはその人の存在そのものであることを示されたのではないのでしょうか。またイエスは時を待たずしてその人を癒されました。一人一人の人を見つめ、癒しを願われるイエスの心が今日も皆さんと共にありますように。



歴史 HISTORY バプテストの歩み 第17回

1974年7月、京都府および京都市と小児慢性特定疾患治療研究事業に関する治療委託医療機関として契約締結。10月には日本病院会より人間ドック病床8床の承認許可を得た。

1975年には大阪府とも小児慢性特定疾患治療研究事業に関する治療委託医療機関として契約締結。7月、開院20周年を迎え、記念式典を挙げる。また同志社大学神学部の「臨床牧会訓練」実習病院としてゼミナールを開催。12月には医療団から独立して「社会福祉法人バプテストめぐみ会」が設立され、別法人とし

て今後は運営を開始。

1976年4月、社会福祉法人めぐみ会が北白川いずみ保育園を開設。10月、日本バプテスト看護専門学校の医療専門課程が認可された。

1977年6月、米国領事館よりベトナム難民102名の健康診断について依頼があり、5回にわたって実施した。

また、「京都市休日救急小児科診療に関わる年末年始および祝日の後送体制」について京都府医師会長より協力要請があり、これに協力した。

催し物 報告

医療団

クリスマスコンサート

参加者66名

12月19日(土)の午後、今年も京都シティーフィル合唱団(40名余り)をお迎えし、クリスマスの歌を聴き、皆さんと喜びの時を持つことができました。毎年、医療団を覚えてコンサートにご出演くださり、今回で17回目となります。合唱団の皆様の歌声に、参加者より「よかった」「感動しました」「来年も楽しみにしています」などのお声を頂戴しました。皆さま、ありがとうございました。



献金・献品 感謝ご報告 (2015.11.1-12.31) 敬称略

瀧本 百合子 早野 ミチ子 長尾 恭子 内田 栄
岩西 敬一 鬼石 ヒサ子 同志社女子高等学校
西南幼稚園 和歌山バプテスト教会
横浜戸塚バプテスト教会 西南学院バプテスト教会

イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課

電話 (075) 702-5926

お知らせ

医療団

第6回緩和ケアクリニック勉強会

～臨床は反対言葉の群生地～

日時:2016年3月5日(土) 午後2時～午後4時(開場1時半)
場所:京都メルパルク

基調講演者:

野の花診療所 徳永進先生

お問い合わせ先:

バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック
TEL075-781-7770

先着200名(事前申し込み要)
医療従事者対象とさせていただきます。

お知らせ

医療団

ホスピスボランティア募集

日本バプテスト病院では、月～土のいずれかで13時～16時頃までティータイムのお世話やベットまわりの整理整頓、話し相手などをしていただける(1年以上活動できる20歳以上の方) ボランティアを募集しています。

下記の説明会&面接・研修会の両日に参加が必要です。
参加希望の方は必ず事前連絡をお願い致します。

説明会&面接(筆記用具持参)

2016年5月14日(土) 13:00受付 13:30～16:00

研修会

2016年6月11日(土) 13:00受付 13:30～16:00

両日とも、場所は、(財)日本バプテスト連盟医療団
看護専門学校内 イマヌエルホールです。

T E L 075-702-5927

F A X 075-701-9996

メール volunteer@jbh.or.jp

担当

総務課 松屋・山本

問合せは「ホスピスボランティア応募」と明記し、氏名・住所・年齢・電話番号・メールアドレス等を、FAX又はメールにてお願いします!

編集 後記

暖かい冬ですが、少しずつ「冬らしさ」も感じられる今日このごろです。インフルエンザやノロウイルスと言った「冬らしさ」は感じたくないものですね(^_^;) 当院では、ホームページも積極的に更新しております。皆さまに活用して頂けるよう工夫してまいりますので、「みなさまのこえ」に希望を投函ください。よろしく申し上げます。

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだど、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.134 2016年3月発行

発行/一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人/代表理事 北 堅吉 編集/日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <http://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <http://www.jbh.or.jp/roken/>

日本バプテスト看護専門学校 <http://www.jbsn-kyoto.com/>

バプテスト訪問看護ステーション しおん <http://www.jbh.or.jp/shion.html>

バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック <http://www.jbh.or.jp/bhh/>

バプテスト緩和ケア訪問看護ステーション

バプテスト居宅介護支援事業所